



mundef SUPPORTS

EFP (Equine Facilitated Project) 進捗レポート

February - August 2012



mundef supports Equine Facilitated Project

■ EFP(Equine Facilitated Project)とは

EFPとは、人が幸せになるために、馬と馬をとりまく環境がもたらしてくれる恵みを目的をもって利用するプロジェクトのこと。

障がいを抱える人が乗馬を通じてレクリエーションや機能回復の機会を推進するとともに、誰でもが馬との活動を通して、忙しい日常を離れ、自然の中でゆったりとした時間を持つこと、その中で、よりよい関係—自然、動物、家族、自分、他者との関係を築いていくことをめざして活動しています。

障がいを持つ人を含めたすべての人が、スポーツを楽しむことは、あらゆる人が、等しく社会にアクセス可能な社会を目指すことにつながります。そしてこのアクセシブルな社会の実現は、mundefが活動の軸に掲げる「世界的規模の課題の解決」のための第一歩でもあります。

世界中のすべての人が、自分たちの可能性に挑戦し続ける社会を目指して。そんな願いから、mundefはEFPをサポートしています。



EFP概要

15年以上障がい者への乗馬指導を行う中で、馬に乗るだけでなく、馬とその周りの自然や関わる人たちから作り出す空間や時間からも多くのものを受け取るのだと確認する中で、障害者だけでなく、関わる人すべてが健康で幸せになれる活動を広げたいとの思いから、始まったプロジェクトです。

■ 障がい者乗馬について

◆ 障がい者乗馬とは

障がい者が乗馬を通じてレクリエーションや機能回復の機会を推進するとともに、スポーツとしての乗馬を楽しむ活動を指します。

馬は元来おだやかで人なつっこく、従順であり、正しく接すれば、人間を攻撃しない、穏やかな生きものです。乗馬を通じて命の尊厳を学ぶとともに、馬の世話や非言語コミュニケーションを通じた「気づき」や乗馬を通じた達成感を得ることが期待されています。

◆ 障がい者乗馬の歴史

20世紀初頭、第一次世界大戦にまで遡ります。大戦で負傷したイギリス兵たちが、馬に乗ってリハビリを行ったことが、その発祥とされています。その後、「乗馬セラピー」は世界中に広まり、現在ではごく一般的な治療の手段として実践されています。

◆ 乗馬セラピーの効果について

• 知的障害者・児の場合：

大型動物とコミュニケーション出来たことで自信がつき、日常生活が積極的になったり、家族以外の人と話さなかった子が、馬と一緒に歩いてくれたボランティアの人に話しかけるようになったり、馬に乗ることで姿勢がしっかりしてくるなどがあります。

• 身体障害者の場合：

普段使わない筋肉を使ったり、馬のあたたかい背中にまたがることで、股関節が広がるなどのリハビリ効果や、走ることができない人でも馬に乗って走ること、風をきって走る爽快感が味わえるなどがあります。



mudéf supports Equine Facilitated Project

■ 活動概要（サポート開始の2012年2月～6月）

【EFPの活動概要】

EFPは生涯発達を目指したハッピーな馬との活動を発信していきます。

- ◆ 馬、自然とのふれあい
- ◆ チームビルディング、コミュニケーション向上プログラム
- ◆ 馬の世話をとおした社会体験・労働体験
- ◆ 近隣農家との協力プログラム、収穫や食の循環を学ぶ
- ◆ 低年齢児のグループ療育プログラム
- ◆ 心と身体を育む子どものためのプログラム
- ◆ スペシャルニーズがある人の乗馬指導や乗馬活動コーディネート、支援
- ◆ デイキャンプや季節ごとの行事の開催
- ◆ ポニー出張（パーティ、イベント他）
- ◆ 外乗旅行
- ◆ 講師派遣によるセミナー、クリニックの開催など



【定期的な活動】

月間	
2月	スペシャルニーズセッションを14回開催
3月	スペシャルニーズセッションを9回開催
4月	スペシャルニーズセッションを27回開催
5月	スペシャルニーズセッションを18回開催
6月	スペシャルニーズセッションを19回開催
7月	スペシャルニーズセッションを25回開催
8月	スペシャルニーズセッションを13回開催

※スペシャルニーズセッションとは、スペシャルニーズのある人を対象にした乗馬指導、乗馬活動のコーディネート、支援の取り組みを指します。





mudéf supports Equine Facilitated Project

【イベント活動】

DATE	
2月11日	スペシャルオリンピックス日本・神奈川馬術プログラム
3月2日	「心身障害児通園施設つつじ学園」へ出張
3月3日	わいわいサポセン祭り（於茅ヶ崎中央公園）
3月18-21日	イギリスより講師を招いたワークショップ
3月18日	乗馬クリニック
3月19日	乗馬クリニック、乗馬インストラクターのためのワークショップ
3月20日	ワークショップ「馬に対して人に対して愛情のある躰 前向きな選択を導く」
3月22日	乗馬クリニック
3月23日	「児童養護施設 子どもの園」を訪問
3月24日	スペシャルオリンピックス日本・神奈川馬術プログラム
4月22日	理学療法士によるクリニック
5月12日	スペシャルオリンピックス日本・神奈川馬術プログラム
6月1日	横浜開港まつりに出張、引き馬イベント（250名参加）
6月2日	こども応援ネットワーク うまとともだちプログラム（11名参加）
6月16-19日	モンゴル乗馬ツアー（15名参加）
7月26日	神奈川県立瀬谷養護学校の夏祭りにポニー出張
8月3-4日	山口県の児童養護施設の子どものためのホースキャンプをサポート





mudéf supports Equine Facilitated Project

■ 活動風景

7月26日、神奈川県にある 瀬谷養護学校の夏祭りに ポニー3頭が出張、子ども約350名を触れ合いました。広い敷地内を散歩したり子どもが触れ合うきっかけとなりました。参加者の保護者からは、「ポニー・馬とのふれあいコーナー」は子どもが一番楽しみにしていました。とても嬉しがっていましたが、楽しい経験ができました」「初めてお馬さんに触れました。人參もおっかなびっくりですがあげることができました。ありがとうございました」「息子は、馬をなでている時はとても良い顔をしていて、印象的でした。何か通じるものがあるのかも…なかなかできない体験を身近にできて、有り難かったです」など嬉しい声をいただきました。



■ 収支報告書 (2012年2月~8月)

【収入】

費目	内訳	小計
ご寄付	指定寄付	¥1,400,000

【支出】

費目	小計
2月分支出	¥150,000
3月分支出	¥150,000
4月分支出	¥150,000
5月分支出	¥150,000
6月分支出	¥150,000
7月分支出	¥150,000
8月分支出	¥150,000
予備費・管理費	¥350,000
総合計 (税込)	¥1,400,000

【収入】-【支出】

収支差額	¥0
------	----